

幼児教育推進体制の充実・活用強化事業

令和3年度 有識者会議

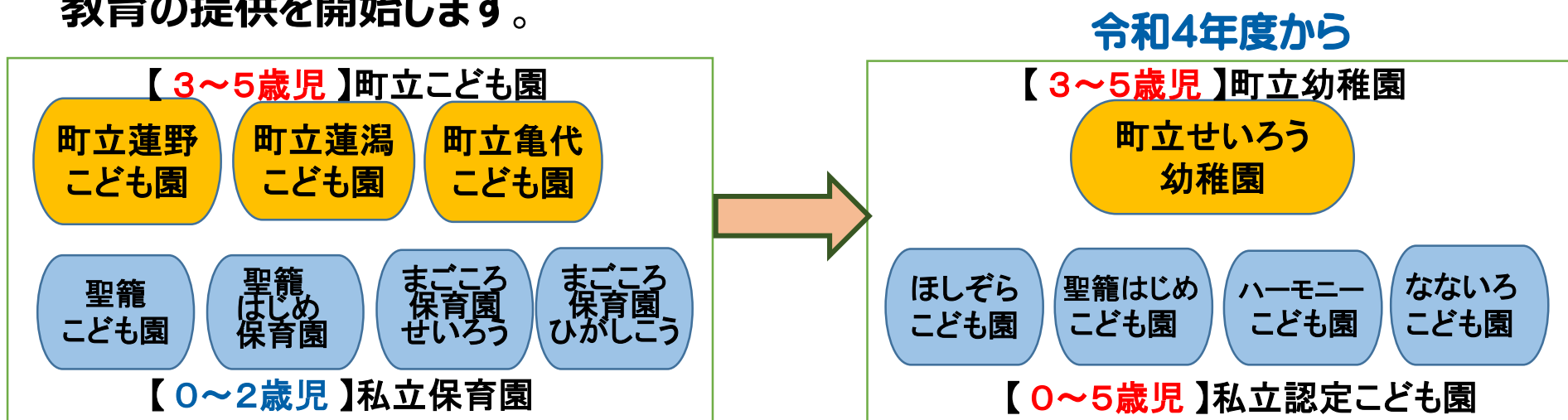


令和4年3月2日(水)

聖籠町幼児教育センター

令和4年度の新しい子育てシステムへの移行に向けて

本町では、平成17年度から、0歳から2歳までを保育園で、3歳児から5歳児までの全幼児を町立こども園（幼稚園）で教育に重点を置いて保育するシステムをとってきました。しかし、近年就労環境の変化、核家族化、女性の社会進出等の社会状況の変化並びに国の幼保無償化政策等により、保護者の保育園、幼稚園に対するニーズが大きく変化し、**令和4年度から新しいシステムによる保育・幼児教育の提供を開始します。**



現在3～5歳児を受け入れている3つの町立こども園が1つの町立幼稚園に、現在0～2歳児を受け入れている4つの私立保育園が、0～5歳児までを受け入れる認定こども園となります。また、現町立こども園教諭は、令和4年度以降、町立幼稚園、私立認定こども園に派遣配置されます。

令和4年度の新しい子育てシステムへの移行に向けて

そこで、町内すべての3～5歳児に対して等しく質の高い教育を継続的に提供できるよう、令和2年度から文科省交付金を活用して「幼児教育体制の充実・活用強化事業」に取り組み、「聖籠町人口ビジョン2020 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和2年度～令和6年度)に位置付けた「子どもの興味・関心を刺激し、可能性を育む幼児教育の推進」を加速させ、**幼児教育の質の向上と充実**に努めてきました。

聖籠町幼児教育の充実構想

小学校への接続 伸びしろの蓄積

幼児期において育みたい資質・能力

知識・技能の基礎

思考力・判断力・表現力の基礎

学びに向かう力・人間性等

道徳性・規範意識の芽生え

言葉による伝え合い

子ども・保護者・教師の育ち合い

健康な心と体

豊かな感性と表現

協同性

認知能力と非認知能力の伸長

数量や図形、標識や文字などへの感心・感覚

声掛け

思考力の芽生え
自立心

社会生活と自然との関わり
生命尊重

傾聴

音楽 英語 文字 体育 栽培 自由遊び 食育 本 お茶 人権

環境整備

様々な仕掛け

見取り

遊び・原体験

研修の輪を広げよう！

令和3年度 幼児教育センターの活動の重点

幼児教育センターでは、聖籠町の幼児教育の質の向上と充実に向けて、次の(1)～(5)を重点に活動に取り組んできました。

(1) 幼児教育の質と指導力の向上

- ①町立・私立園合同研修の実施
- ②町立こども園研究保育参観・助言
- ③構想力をつけるための日案「わくわくシート」活用
- ④定期的な町立こども園訪問

(2) 一園一小から、複数園と小学校の新たな連携・接続方法の構築

- ①関係者協議会開催(9・11・12・1・3月)
 - ・スタートカリキュラム・アプローチカリキュラムの編成・検証
 - ・複数園と小学校の連携方法の構築

(3) 聖籠町の幼児教育の積極的な発信

- ①リーフレットの作成
- ②広報せいろうで発信
- ③ホームページで町立こども園の取り組みを毎週発信
- ④下越地区保幼小合同研修会事例発表

(4) 閉園・開園に向けたサポート

- ①町立こども園閉園記念誌作成
- ②町立こども園閉園式・町立幼稚園開園式準備

(5) 幼児教育アドバイザーの質の向上

- ①有識者会議開催(3月)
- ②連絡協議会開催(7・12・2月)
- ③新潟大学附属幼稚園研究会参加
- ④文科省幼児教育推進体制の充実・活用事業意見交換会参加

令和3年度の諸会議の開催

- 幼児教育体制の充実・活用強化事業を推進するにあたり、「連絡協議会」「有識者会議」「関係者協議会」を開催します。

会 議	目 的 と 構 成
連絡協議会 (年3回)	<ul style="list-style-type: none">■ 幼児教育アドバイザーの質の向上● 大学関係者、県教委指導主事、新潟市教委指導主事、園長、事務局等で構成
有識者会議 (年1回)	<ul style="list-style-type: none">■ 幼児教育推進活用事業についての進捗状況及び成果と課題の共有、助言<ul style="list-style-type: none">・ 幼稚園教諭、保育士の指導力向上・ 町立の幼稚園・民間の認定こども園と小学校との接続・ 幼児教育の積極的な発信● 大学関係者、県教委指導主事、近隣市教委指導主事、保護者代表、幼稚園長代表、保育園長代表、小学校長代表、事務局等で構成
関係者協議会 (年6回)	<ul style="list-style-type: none">■ 町立幼稚園・民間認定こども園と小学校との連携・接続<ul style="list-style-type: none">・ 園と小学校との円滑な連携・接続について協議・ 幼小接続期カリキュラム(アプローチ・スタート)の編成と実効性の評価● 幼稚園長、保育園長、小学校長、事務局で構成

連絡協議会

- ① 県教育庁義務教育課指導主事……………中島伸子
- ② 県教育庁下越教育事務所指導主事……………五十嵐潤
- ③ 新潟市教育委員会指導主事……………佐藤恵美
- ④ 聖籠町教育委員会指導主事……………平山誠 <事務局>
- ⑤ 幼児教育アドバイザー……………鈴木裕子 <事務局>
- ⑥ 園長代表(蓮野こども園園長)……………地主浩美

有識者会議

- ① 新潟医療福祉大学健康スポーツ学科教授……………脇野哲郎
- ② 県教育庁義務教育課指導主事……………相田巧
- ③ 新発田市教育委員会指導主事……………高久義之
- ④ 新発田市立外ヶ輪小学校長……………井上正裕
- ⑤ 新潟市立有明台小学校長……………白澤陽子
- ⑥ 新潟市立沼垂幼稚園長……………青木博子
- ⑦ 田上町立竹の友幼稚園長……………白井貞一
- ⑧ 保護者代表……………高橋真弓
- ⑨ 聖籠町教育長……………近藤朗
- ⑩ 聖籠町教育委員会子ども教育課長……………松井博
- ⑪ 聖籠町幼児教育センター長……………平山誠 <事務局>
- ⑫ 聖籠町幼児教育センター財務主任……………渡辺大樹 <事務局>
- ⑬ 聖籠町幼児教育センター相談主任……………関川清美 <事務局>
- ⑭ 聖籠町教育委員会子ども・子育て支援係……………牧野恵 <事務局>
- ⑮ 聖籠町幼児教育センター幼児教育アドバイザー……………鈴木裕子 <事務局>

令和3年度に実施する諸会議の構成(敬称略)

関係者協議会

- ① 聖籠町立蓮野こども園長……………地主浩美
- ② 聖籠町立蓮潟こども園長……………渡邊恵子
- ③ 聖籠町立亀代こども園長……………西村美紀
- ④ 社会福祉法人真心福祉会 聖籠こども園長……………高橋智恵子
- ⑤ 同 まごころ保育園せいろう園長……………渡邊文江
- ⑥ 同 まごころ保育園ひがしこう園……………本間千賀子
- ⑦ 社会福祉法人親永会 聖籠はじめ保育園長……………三國薫
- ⑧ 聖籠町立蓮野小学校長……………六井和幸
- ⑨ 聖籠町立山倉小学校長……………若狭陽一
- ⑩ 聖籠町立亀代小学校長……………近藤幸栄
- ⑪ 聖籠町教育委員会子ども教育課長……………松井博
- ⑫ 聖籠町幼児教育センター長……………平山誠 <事務局>
- ⑬ 聖籠町幼児教育センター財務主任……………渡辺大樹 <事務局>
- ⑭ 聖籠町幼児教育センター相談主任……………関川清美 <事務局>
- ⑮ 聖籠町教育委員会指導主事……………戸川しげ子<事務局>
- ⑯ 聖籠町教育委員会子ども・子育て支援係……………牧野恵 <事務局>
- ⑰ 聖籠町幼児教育センター幼児教育アドバイザー……………鈴木裕子 <事務局>

(1) 幼児教育の質と指導力の向上

①町内・私立園合同研修の実施

町立・私立園合同 研究保育協議会 (3回)

指導者:新潟大学
教授 中島伸子様

○町立こども園で研究保育を行い、町立・私立園教諭による協議会と大学教授による指導。

- ・令和3年6月 8日(火) 蓮潟こども園3歳児研究保育
- ・令和3年6月 9日(水) 蓮野こども園5歳児研究保育
- ・令和3年6月11日(金) 亀代こども園4歳児公開保育

町立・私立園合同 園長・副園長・ミドル リーダー研修(1回)

講師:新潟市立内野小学校
校長 中村芳郎様

○町立・私立園管理職を対象に、民間経験のある校長による園経営についての研修。

- ・令和3年6月15日(火)
講話・演習「園経営と人材育成で大切にすること」

町立・私立園合同 全教諭対象 指導力向上研修(1回)

講師:新潟大学
教授 中島伸子様

○町立・私立園全教諭を対象に、大学教授による非認知能力を育む保育についての研修。

- ・令和3年8月20日(金)
講話「非認知能力を育む保育の在り方」

町立・私立合同「研究保育協議会」

1, 協議の視点をもとにビデオ撮りした保育を視聴



子どもたちの遊びを数日間ビデオ撮影し、視点に沿って編集した映像を視聴することにより**全員が同じ視点で場面を共有**することができました。数日間の遊びの変化を追うことで、教師の手立てがどのように有効であったかを見取ることができ、話し合いが深まりました。

2. 環境構成と教師のかかわりについて協議

《ファシリテーションによるグループごとの話し合い》



《考えやアイデアを全体で共有》



子どもが生き生きと活動する「環境構成」と「教師のかかわり」について、付箋に書いた考えをもとに積極的な話し合いが行われました。全体で発表することで、多様な考えやアイデアを共有することができました。

3, 大学教授によるまとめと指導



教授が実際に朝から園で保育を参観し、専門的な視点で撮影した映像をもとに具体的な指導が行われました。

参加者は、学年の発達段階に応じたよりよい支援について理解を深めることができました。

〈参加者の振り返りシートより〉

「遊びは、保育者自身が“こういう経験をさせたい、その経験からこの部分の発達を促したい”という思いが先行するが、今回の教授の話により、日々の振り返りを大切にし、子どもの状況や心をしっかりと把握した上で計画を立てる重要性を改めて学びました。」

民間経験のある小学校校長による管理職研修

講話と演習『園経営と人材育成で大切にすること』



自園の強みや弱みを把握し、どのように園経営に活かすとよいかを学びました。



演習では、それぞれの園の良さとして課題の解決策について話し合いました。

研修を通して、今後もリーダーシップを発揮して園経営や職員の育成に努めていこうという気持ちを新たにしていました。

(1) 幼児教育の質と指導力の向上

②幼児教育アドバイザーによる研究保育参観・助言

町立こども園での保育参観・助言

○日案をもとに保育をビデオと写真で撮影し、管理職と学年の先生と協議会を行います。
後日写真をドキュメンテーションにまとめて渡します。

- ・ **1 学期** : 蓮野こども園 4 歳児園内研修
 亀代こども園 5 歳児園内研修
 蓮潟こども園 園内研修
- ・ **2 学期** : 蓮野こども園 4 歳児町内研修
 蓮潟こども園 4 歳児園内研修
 亀代こども園 5 歳児町内研修
 蓮野こども園 3 歳児町内研修
 蓮潟こども園 5 歳児園内研修

ドキュメンテーションを作成 (A先生の研究保育について)①

子どもたちの活動や学びの様子を記録します

蓮沼こども園5歳児 先生
公開保育ありがとうございました(11月26日)

本日のねらい O友達に言葉で思いを伝えながら、同じ目的に向かって遊ぶことを楽しむ。

あかね先生の、さかなつりチームへのかかわり中心に追わせていただきました。

魚釣りチームだけなかなか遊戯室へ下りてきません。見についてみると、川づくりについて相談中でした。



それいい？ それ？
えいっ
いるの？

前と後ろに立てるんだよね！
前と後ろにこれど個だけど、これCOK？
と橋



あとは？これだけあればいい？
足りなからまた言って！
うん！



見通しもしっかりとむて子どもたちは、嬉しそうに歩いて遊戯室に向かっていました。

けっして見切り発車せず、子どもたちに今日の遊びの見通しをしっかりと見せ、子どもたち自身に必要なものを考えさせてから遊戯室に向かわせる姿勢は素晴らしいなあと思いました。音除、強い子と押さわがちなせな君たちの器用さを大切にすることで、どの子の意見も尊重されるんだという安心感をもてると思います。



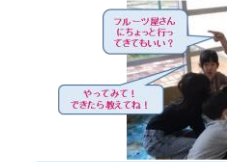
みんなこれいい？
僕らに立てるの！
僕らに立てるの！



あかね先生は、みんなでアイデアを共有するように声かけます。



ゆずはちゃん、ほら後ろに立てるって
いいじゃない！



子どもたちが作業に見通しをもてたところで、先生は他のグループへ移動します。グループを離れるときは行き先を告げて子どもたちに了解をとり、さらに「できたら教えてね」と期待を含めた言葉を掛けていました。これによって、子どもたち自身の立ち回りを大切にされているという安心感と、先生が来るまでにはがんばって完成させようという意欲をもつことができたと思います。

あかね先生は、フルーツ屋さんの進捗状況を確認し助言をします。



あかね先生は、みんなでアイデアを共有するように声かけます。



先生は問題を投げ掛けるが、解決はあくまでも子どもたち主導によるようにします。さらに、ポンドを付けた後どこで釣かずもあらかじめ考えさせ、今後の作業を自分たちでスムーズに進められるように配慮していました。

子どもたちががんばりをほめてその気にさせます。



子どもたちが頑張った商品や、うんとほめて自信をもたせてます



そこの、魚つりの子がちゃんと成果を報告に来ました。



二本で立ったよ！
あっ二本で立った、それは素晴らしい！！
いいねえ、ここでこうやってね



何か困ってるみたいだよ！
ここに魚釣りをする人がいたら、倒れるんじゃないかなって心配なんだね



あかね先生は、また魚つりヘダッシュ



フルーツ屋の商品作りを確認して
その後も、友達と相談しながら手際よく作業を進めていました。



みんなの気持ちを引く言葉掛けします



困り感をみんなで共有します



けいと君やってみて！ どうしたら困るの？



足がふつかると倒れてしまうことを実演

魚つりに戻ったあかね先生は、何かまだ困ったことがあることを観察時に察知します



ここで釣る



あー、ここで釣る。ここで釣ったら何か困るの？
どうしたらいいかなあ

お客さんが看板の前で魚を釣ると倒れるという困り感を、実際に演じさせることで、どんな風に困るのかを視覚的にみんなで見ることができ、素晴らしい配慮だなと思いました。



子どもたちからの気付きを大切にします。



担任とのかかわりによる遊びの深まりを追います

ドキュメンテーションを作成 (A先生の研究保育について)②



ちゃんと聞きなさいではなく、「何か困ってるみたいだよ」「ほら、ゆずちゃん何かいいこと気が付いたよ」と、児童の困り感やアイデアにみんなが興味をもって耳を傾け、共有すること、協力を作業することを大切にされていました。あかね先生が日頃から、子ども同士のかかわりを大事に指導しているのがよく分かります。

どうしたらいいかなあ
どうしたらいいかなあ

ここにテープを貼って
オーオーオー

ゆずはちゃん、お目もテープとめて
誰かにこねかえてあげて

どうしたの？
けいと君お話してるから聞いてあげて

せな君手伝ってあげて

みんなて課題を共有できるように促します



倒れない、すごいじゃん！
さっきより丈夫になったじゃん！やっとな



びんびん跳ねて喜びを表現！



次の課題を投げ掛けます
けいと君、まだ気になるところあったんだよね
どうしたの？
けいと君お話してるから聞いてあげて



ねえ、聞いて聞いて
なんかさ、この水が外にもれてる、大変だよって



みんなて課題を共有できるように促します



一人の困り感をみんなで確認します



テープで直した方がいいかもね、本当だね
子どものつみやきを上手に拾って解決に繋がっています。この後、子どもたちはがんばって修復していました。



テープで出ないよにする
あっ、テープで出ないよにするんだね。上のところと下のところをべたべたと貼って



フルーツ屋さんへもアドバイス
先生、見て！
今日あげちゃうの？
また遊んであげたって今日は言うの？ うん



今日、見るとほしなっちゃうから、しまっておく？
かいておきたい、じゃあ、お部屋に置いてあげて

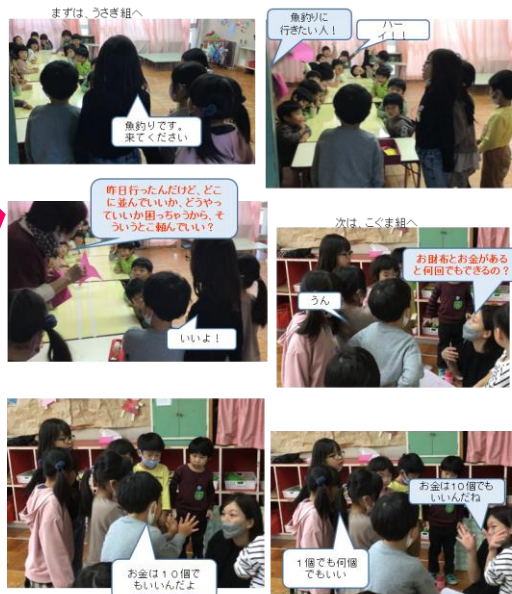


フルーツ屋さんが、できたおみやげを見せに来たので、あかね先生は再びフルーツ屋さんへ。
「どうしたい？」と子どもたち自身の考えを大切に、先を見通した解決を図ります



「どうしたい？」と子どもたち自身の考えを大切に、先を見通した解決を図ります

他学年の先生とのかかわりなど、担任が見えていない子どもの様子も伝えます



まずは、うさぎ組へ
魚釣りでず、来てください
昨日行っただけど、どこに落ちたのか、どうやっていっしょに釣っちゃうから、そいつとこねていい？
次は、こぐま組へ
お困りとお金があるの何個でもわかるの？
うん
お金は10個でもいいんだよ
1個でも何個でもいい
小さい組さんのお部屋を目指してレッツゴー！

他の先生から質問を受けたり、お願いされたりすることで、今まで気が付かなかったことに気づき、お客さん楽しんでもらうためにどうしたらよいかを考え直すきっかけになります。先生方がみんなで子どもたちを育てているのがよく分かります。



魚つりの開店準備が整いお客さん呼びたいという気持ちが高まりました
先生、お客さん呼んでください
みんなに言ってごらん
やりたことは自分でみんなに伝えるように促します。チームとしての意識を大切にしています。
お客さん呼びに行こう！
一人一人に呼び掛け同意をとります
お客さん呼びに行こう！
うん
小さい組さんのお部屋を目指してレッツゴー！

子どもたちが自分の願いや考えを伝え合って解決していくことの大切さ、チームとして活動することの楽しさを味わうように配慮しています。

子どもたちの遊びを深める言葉掛けや、思いに寄り添うかかわりを記録します

ドキュメンテーションを作成 (A先生の研究保育について)③



魚釣を今、遊んでいるからわさないでね



壊さないで、順番だから



いらっしゃいませー!



優しく対応!



おもて返してくれる人がいないんだよ

お客さんはおみやげのアメを喜んで持っていたけれど、少なくなってしまいました。減らしたけど、どんどん減るのも困ったようです。



おもてをお客さんに返してって言ったから、お客さんがガッカリするから、あめなくなったら「おしまいです」って書いていい?

お客さんのことを考えて、閉店を提案



じゃあ、看板が壊れそうって遊んでいるんだね



来てくれるって?

良かったね!じゃあ、準備して待ってね



せな君、大活躍!! 一人何役もこなします

釣れた魚を受け取ります

手をつないでおみやげコーナーへ

(ここやかにおみやげを渡します)



いっせーの一で何て言うの?

おしませす



魚つり、閉店です!!

みんなで仲良く手をつないで、息もピッタリに呼び掛けていました! チームを大切にすあかね先生の日頃のご指導が生きていますね



いざ、魚つり閉店!

レジの係をしたり、釣竿を渡したり、釣り方を教えたり、お客さんが楽しめるように自分たちで動きます。



すぐに次のお客さんに釣竿を渡します



釣れるのを見守り、釣れたら釣竿と魚を受け取ります

振り返りをして次の活動のめあてを明確にします



10個しかない

10個、かなくなつたの、それは大変、数えますよ。



1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12

足りないんだよ



じゃあ、今度どうする? 月曜日今度はお仕事何するの?



また新しい商品つくるの、あめも作るのね!

子どもたちの困り感や願いを聞きながら、次の見通しをもたせていました。がんばって最初に修復した日は、見事に壊れずたくさんのお客さんを楽しませてくれました。今日の課題はクリアでしたね!

あかね先生、おいそがしいところ素敵な保育を参観させていただきました。あかね先生の一人一人の子どもに対する細やかな配慮や、子ども同士をかかわらせる的確な言葉掛け・対応は素晴らしいなあと思います。

子どもたちの様子を良く見取り、困り感を察知してそれを子ども自身に語らせ、みんなで考え解決できるように導くテクニックはさすがだなあと感じました。どんな時も一人一人の子どもがチームや集団の一員であることを大切にし、相手の話に耳を傾けさせる指導がとても行き届いていると思います。きっと子どもたちは、みんなあかね先生が大好きで、心から信頼していると思います。

あと3ヶ月半で達海こども園は閉園となりますが、あかね先生が育てたら歳児は、最後の卒園生としてふさわしく立派に巣立っていくことと思います。ありがとうございました。

最後に、担任の子どもへのかかわり方、手立ての工夫等についてよかった点をまとめ、励みになるようにします

(1) 幼児教育の質と指導力の向上

③構想力をつけるための日案「わくわくシート」の活用

○教師の「仕掛けの構成力(環境構成)」と「かかわり力(教師の援助)」を高めるために、構想の視点を明確にし、振り返りを重視した日案『わくわくシート』を町立こども園で活用しています。

○『わくわくシート』は、令和2年度に3つの町立こども園と検討を重ねて作成した共通の形式です。「予想される姿・ねらい・仕掛け・かかわり」の視点に沿って計画を立て、活動後に「振り返り」を行って、想定した子どもの姿へつながるものであったかを評価します。

○日々の保育や研究保育で『ワクワクシート』を活用することで、全職員が構想の視点に沿ってしっかりと計画を立て、振り返りを大切にする姿勢が身についてきました。

わくわくシート「形式1 (A3版)」(数日継続して記入)

遊びや年齢に応じて
形式1・2を選んで使用

組 『わくわくシート』

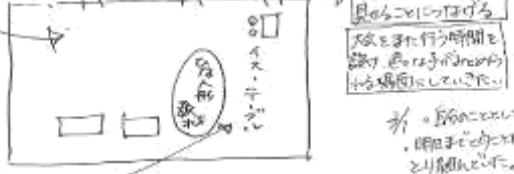
2月25日(木) ~ 3月1日(月)

遊びの様子と「ねらい」

<こま・はねび・フープ>

- ① 基礎的な子からやり始める。
- ② 今日、ひまわりつくりの子の前で。
- ③ コマを遊ぶようにして遊ぶ。家庭でも遊ぶ準備。
- ④ 自分からやりたいように遊ぶ。大人は様子を見守り、必要に応じてサポート。
- ⑤ コマの出来はいい！ 準備。
- ⑥ 小さい組にも見せていってほしい。

- ・ 1人1組で遊ぶように促す。
- ・ 1人1組で遊ぶように促す。
- ・ 1人1組で遊ぶように促す。



→ 明日は... 全体で活動して遊ぶように促す。

振り向き・分かったこと
2/25 木曜日、ひまわりのかわとつくりの準備...
① 準備はいいから早く始めよう...
② 7分まで待てる？
3/1 月曜日、こまの準備は自分から...
あんなに早く準備できた。

日々の「振り返り」
を大切に
する

- <ひまわりつくり> 3/2 月曜日、玄関に飾る。
- ① 飾りを作りたいので下準備あり、色紙や、テープ、はさみ。
 - ② 色紙は、はさみで材料を切ってくる(はさみ...)
 - ③ 色紙は、はさみで切っている。色紙と自分の名前(名前)。
 - ④ 色紙は、はさみで切った。色紙の形に貼っていく。
 - ⑤ 色紙は、はさみで切った。色紙の形に貼っていく。
 - ⑥ 色紙は、はさみで切った。色紙の形に貼っていく。

- ① 色紙は、はさみで切った。色紙の形に貼っていく。
- ② 色紙は、はさみで切った。色紙の形に貼っていく。
- ③ 色紙は、はさみで切った。色紙の形に貼っていく。
- ④ 色紙は、はさみで切った。色紙の形に貼っていく。
- ⑤ 色紙は、はさみで切った。色紙の形に貼っていく。
- ⑥ 色紙は、はさみで切った。色紙の形に貼っていく。

- <振り返り> ① ②
- ・ 準備はいいから早く始めよう。
 - ・ 準備はいいから早く始めよう。
 - ・ 準備はいいから早く始めよう。

「予想される姿」「仕掛け」「かかわり」 を具体的に想定

こま・はねび・フープ 自分のやりたいものを遊ぶように促す。

・ 大会に参加する子の名前を呼んで活動に参加する。

・ 毎朝、年中でも大会に向けて準備を促す。

① 準備前に準備を促す。準備はいいから早く始めよう。

ある日のA教諭のわくわくシートに書かれた「振り返り」（一部抜粋）

以前の日案では、目に見えた遊びの姿の記入が多かったが、振り返りに力を入れることで考察が加わり、次の保育の手立ての充実につながっています。

姿

桜の実の色水は紫色になり、そこに石鹼の泡を入れ、時間が経つと紫色が消えていくことに気づき、声に出す姿があった。

気づき

目に見えて分かる変化があることで、自然と子どもから思いが出やすくなることが分かった。

気づき

タライではなく、洗面器だと自然と子ども同士の距離が近くなり、友達のやっていることも見えやすい。

次の手立て

洗面器を2つではなく3つにすると、2～3人に分けられ、より声が出やすくなるのではないか？小さい集団を大切に、明日は3つに変えてみる。

(1) 幼児教育の質と指導力の向上

③定期的な園訪問により子どもたちの様子を見とる

町立こども園でALTとの英語活動（水・木・金曜日）

○ALTと週3日間（各園1日ずつ）英語活動を行う。

ALTに対して、子どもの発達段階に応じた指導の助言と補助を行います。

○子どもたちの取り組みの良さや成長を、その都度担任や園長先生に伝えます。



(2) 一園一小から、複数園と小学校の新たな連携・接続方法の構築

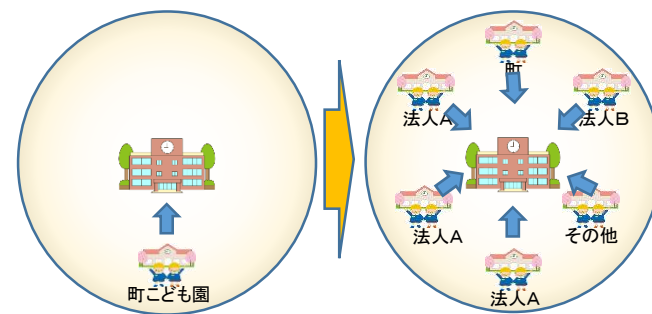
①関係者協議会の開催

関係者協議会開催

「接続期カリキュラム検討委員会」(9・3月)

町立こども園長・私立保育園長・小学校長・幼児教育センター

- 令和4年度のスムーズな接続に向けて、今年度のアプローチカリキュラムとスタートカリキュラムを見直します。
- 複数園と小学校の新たな連携方法を構築します。



「町立・私立園長連絡会」(11・12・1・3月)

町立こども園長・私立保育園長・幼児教育センター

- 4月からの町立幼稚園・私立認定こども園への移行に向けて、町立・私立園での調整と準備を行います。

(2) 一園一小から、複数園と小学校の新たな連携・接続方法の構築

「スタートカリキュラム」の編成・検証

○聖籠町の3つの小学校では、令和2年度までスタートカリキュラムについて足並みが揃っていなかったため、令和2年度末に、統一した形式(こども園での経験を活かした合科的・関連的な学習プログラム)でのカリキュラムを各校で作成しました。

令和3年4月からこのカリキュラムで実践し、その成果を関係者協議会で検証するとともに、令和4年度のカリキュラム作成に取り組んでいます。

成果 ・このスタートカリキュラムがあることで、担任は安心して見通しをもって園小の接続を考えながら学習活動をスタートすることができた。

・入学児童も、スムーズに学校生活をスタートさせることができた。

課題 ・新型コロナウイルス感染状況によっては、交流を伴う活動についての見直しが必要。

・4月の年度当初の予定がしっかりできすぎていたために、突然の変更など難しい部分もあった。

→ 状況や入学後の児童の実態に応じて臨機応変に対応する。
記録を残し、次年度の計画に活かす。

聖籠町立山倉小学校
が実施してきたこのス
タートカリキュラムの
形式を活かし、他の2
校でもこの形式で自
校化し、実践していま
す。

スタートカリキュラム 実践に当たって

1 スタートカリキュラムとは

スタートカリキュラムとは、小学校に入学した子どもが、遊びを中心とした保育所・幼稚園等の生活から、教科学習や時間割による小学校の学習生活に滑らかに接続できるような工夫された指導計画のことです。児童が幼児期に体験してきた「遊びを通した学び」と、小学校生活の中心をなす「教科学習」の要素の両方を組み合わせた、合科的・関連的な学習プログラムです。

2 スタートカリキュラムのねらい

児童が**安心**して、学
校生活を送ることが
できるようにすること

各教科等の学習に**円
滑に接続**し、児童が意
欲的に取り組むことが
できるようにすること

学習や生活の基盤と
なる**学級集団**をつくる
こと

学校の生活時程や校
舎内の様子、きまりや
ルールになれるための
活動の工夫

幼児期の教育との接
続を意識した授業等の
工夫

新しい先生や友達と
の出会いを楽しむ活動
の工夫

3 スタートカリキュラムで育てたい子ども像

- ◆安心して自分を発揮できる子ども
- ◆新しい学級や学校のルールを受け入れ、みんなと楽しく過ごせる子ども
- ◆学習への興味・関心をもち、意欲的に学習に取り組む子ども

4 円滑な接続のための留意点

◆こども園での経験や学び、保育者の指導を参考にする。

こども園の指導計画やアプローチカリキュラム、情報交換や参観を参考に、入門期には、こども園で行った活動を取り入れるなど、子どもたちが学校生活にゆっくり無理なくなじむことができるようにする。

◆指導方法として、生活に即した学びの構成を考える。

子どもの言葉から活動を立ち上げたり、教師の仕掛けで子どもの興味・関心を引き出したりしながら、他教科との合科や関連を考え、柔軟な発想で授業を構想する。

◆合科的・関連的な指導の充実を図る。

生活科を中核とした合科的・関連的な指導の工夫を図る。その際、各教科等のねらいを把握し、指導の効果を十分に高めるようにする。

◆授業時数の適切な割り振りに配慮する。

合科的・関連的指導を行うにあたっては、単位時間を柔軟に考えてカリキュラムを作成する。

◆学習環境の工夫を考える。

一人一人が安心感をもち、生活や学習ができるように学習環境を整える。

◆職員全員の理解を図る。

スタートカリキュラムの意味と必要性を職員全員で理解しておく。他学年との関連も考慮し、双方の指導内容を確認する。

5 週案への位置付け

スタートカリキュラムは週案の形で位置づける。徐々に教科等への学習へ移行できるよう、ねらいに応じた学習形態を次のように表す。

一人一人が安心感をもち、新しい人間関係を築いていくことをねらいとした時間

なかよしタイム

生活科、体育科を中核とし、活動を中心とした学習

わくわくタイム

教科等を中心とした学習

ぐんぐんタイム

第1週から第5週まで作成

R3年度 第2週スタートカリキュラム 友達といっぱい遊ぼう

○友達と仲良く過ごすことができる。

月日	12	13	14	15	16	
曜日	月	火	水	木	金	
予定	地域子ども会・集団下校	下校指導・1迎会	発育測定			
朝の会	挨拶 健康観察 今月の歌 先生の話					
朝活動	・担任は、朝教室で出迎える ・持ち物の片付け ・朝の支度の確認 ・校歌、児童会歌を教えてもらう(6年生) ・読み聞かせをしてもらう(6年生) ・木曜日は、フッ化物洗口の指導・実施					
1	なかよしタイム	なかよしタイム	音楽 うたってあどってなかよくなるうた 音楽	国語 あつまってはなせ 国語	道徳 あまのこ 道徳	
2	学活 1年生を迎える会の様子を語ろう	国語 (書写)船橋の持ち方 語りなぞり	学校行事 学校行事 学校行事	発育測定	なかよしタイム 算数 算数への導入①	なかよしタイム 算数 算数 10までのかず①
3	国語 いいてんき①	体育 固定施設遊び 体育 前庭で遊ぼう	図工 図工 図工	縄を揺らごう 1迎会を楽しんだことを描こう	なかよしタイム 生活 学校探検 グラウンドへいってみよう	道徳 鬼ごっこ じゃんけん列車 多様な動きを作る
4	学活 初めての給食 給食の約束 準備・片付け・歯磨きのしかた	算数 算数への導入①	なかよしタイム 国語 国語	なかよしタイム いいてんき②	なかよしタイム どうせおし①	学活 掃除をしよう
給食						
昼休み						
掃除	掃除見学	掃除見学	さわやかタイム	掃除見学	そうじ(初参加)	
5	学校行事 地域子ども会	道徳 安全な下校 学活 コース遊び 学活	なかよしタイム 生活 生活 学校探検 校舎をまわろう	生活 なにをかんじたかな	なかよしタイム 国語 どうせおし② 国語	
下校形態	全校下校指導	1・2年下校	1・2年下校	1・2年下校	1・2年下校	

なかよしタイム(国語 生活 学活 音楽 算数)
 ・園で好きだった歌を取ったり、手遊びをしたりする。
 ・園で好きだったダンスを踊る。
 ・園で好きだった集団遊びを行う。
 ・音楽に合わせて歩く。(1迎会に向けて)
 ・読み聞かせをきく。(国語「どんなおはなしかな」2時間)
 ・学校生活の基本を学習する。(やり方、使い方、約束)

わくわくタイム(生活 体育)
 ・鬼ごっこや固定施設遊びなど、体を動かして活動する。
 ・春の動植物を見つける。
 ・学校探検をし、どこにどんなものがあるかを見つける。

R3年度 第2週スタートカリキュラム 友達といっぱい遊ぼう

○友達と仲良く過ごすことができる。

月日	12		13		14		15		16	
曜日	月		火		水		木		金	
予定	地域子ども会・集団下校		下校指導・1迎会		発育測定					
朝の会	挨拶 健康観察 今月の歌 先生の話									
朝活動	<ul style="list-style-type: none"> ・担任は、朝教室で出迎える ・持ち物の片付け ・朝の支度の確認 ・校歌、児童会歌を覚えてもらう(6年生) ・読み聞かせをしてもらう(6年生) ・木曜日は、フッ化物洗口の指導・実施 									
1	なかよしタイム		なかよしタイム		音楽	うたっておどってなかよくなる①	国語	あつまってはなそう	道徳	あかるいあいさつ
					音楽		国語		道徳	
2	学活	1年生を迎える会の練習 踊りを踊ろう	国語	(書写)鉛筆の持ち方 線なぞり	学校行事	発育測定	なかよしタイム		なかよしタイム	
	学活		国語		学校行事		算数	算数への導入②	算数	10までのかず①
	体育		国語		学校行事		算数		算数	
業間休み										
3	国語	いいてんき①	体育	固定施設遊び 前庭で遊ぼう	図工	絵を描こう 1迎会で楽しかったことを描こう	なかよしタイム		道徳	鬼ごっこ じゃんけん列車 多様な動きを作る
	国語		体育		図工		生活	学校探検 グラウンドへいってみよう	体育	
	国語		生活		図工		体育			
4	学活	初めての給食 給食の約束 準備・片付け・歯磨きのしかた	算数	算数への導入①	なかよしタイム		なかよしタイム		学活	掃除をしよう
	学活		算数		国語	いいてんき②	生活	どうぞよろしく①	学活	
	学活		算数		国語		国語		学活	
給食										
昼休み										
掃除	掃除見学		掃除見学		さわやかタイム		掃除見学		そうじ(初参加)	
5	学校行事	地域子ども会	道徳	安全な下校	なかよしタイム		生活	なにをかんだかな	なかよしタイム	
	学校行事		学活		生活	学校探検 校舎をまわろう	生活		どうぞよろしく②	
	学校行事		学活		生活		生活			
下校形態	全校下校指導		1・2年下校		1・2年下校		1・2年下校		1・2年下校	

それぞれの時間の位置づけを意識して指導

園での経験を活かすことで、子どもたちが自信をもって生活できるようにする

なかよしタイム(国語 生活 学活 音楽 算数)

- ・園で好きだった歌を歌ったり、手遊びをしたりする。
- ・園で好きだったダンスを踊る。
- ・園で好きだった集団遊びを行う。
- ・音楽に合わせて歩く。(1迎会に向けて)
- ・読み聞かせをきく。(国語「どんなおはなしかな」2時間)
- ・学校生活の基本を学習する。(やり方、使い方、約束)

わくわくタイム(生活 体育)

- ・鬼ごっこや固定施設遊びなど、体を動かして活動する。
- ・春の動植物を見つける。
- ・学校探検をし、どこにどんなものがあるかを見つける。

(2) 一園一小から、複数園と小学校の新たな連携・接続方法の構築

「アプローチカリキュラム」の編成・検証

○3つの町立こども園では、これまでも共通して年間活動計画の中にアプローチカリキュラムを位置付け、小学校との接続を意識しながら指導を行ってきました。

令和4年度からは、3～5歳児の教育を町立1園と私立4園が担うことになるため、町立・私立園と連携しながらアプローチカリキュラムを推進していく必要があります。

- 成果**・年間活動計画に「アプローチカリキュラム」を位置付けることで、取りこぼしのないよう意識して指導ができた。
- ・「アプローチカリキュラム」「園小連携プラン」を作成・実施することで、園と小学校の情報交換の内容が深まった。
- 課題**・聖籠町としての「アプローチカリキュラム」があるといいのではないか。
- ➡ 現在の町立蓮瀉こども園のものをベースに町立幼稚園のアプローチカリキュラムを完成させ、私立園にも情報提供する。
子どもたちの実態に合わせて毎年見直す。

(2) 一園一小から、複数園と小学校の新たな連携・接続方法の構築

「聖籠町接続期カリキュラム」を活用した接続

聖籠町接続期カリキュラム		アプローチカリキュラム【5歳児後期】				円滑な接続		スタートカリキュラム【小学校入学期】			
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
育みたい資質・能力		【知識及び技能の基礎】【思考力、判断力、表現力の基礎】【学びに向かう力、人間性等】						【知識及び技能】【思考力、判断力、表現力】【学びに向かう力、人間性等】			
アプローチ期・スタート期のねらい		○友達や学級全体で同じ目的をもち、その中で一人一人が自分の力を発揮し自信をもって行動する。 ○頑張ったらできた喜びを味わい、様々なことに挑戦し、就学に期待をもちながら生活する。						○新しい環境に慣れ、学校や学級の中で安心して過ごす。 ○学校の生活リズムを身に付け、学習や活動に進んで取り組もうとする。			
接続の視点	健康	健康な心と体	楽しく健康な生活を送る		健康で安全な生活を心掛ける		生活リズムを整えて、健康的な生活をしようとする。	・いろいろな運動や新しい体の動きに興味をもち、楽しんで挑戦しようとする。(体育) ・健康な生活習慣や安全な行動を心掛ける。			
		自立心	あきらめずにやろうとする		見通しをもって生活する		新しい生活や学習に進んで取り組もうとする。	・学校の生活や学習に関心をもって取り組み、自分でできることは自分でやろうとする。 ・思うようにいかになくても、最後まで取り組もうとする。			
		協同性	友達を受け入れる気持ちをもち、一緒に遊びを進めていく		共通の目的に向けて、友達と協力する		友達と助け合い、楽しく学校生活を過ごそうとする。	・新しい友達と、仲良く生活しようとする。 ・友達と一緒に活動する中で、お互いを理解し協力して学習や活動に取り組もうとする。			
	人間関係	道徳性・規範意識の芽生え	相手の気持ちを考えながら行動しようとする		してよいこと、悪いことの判断ができる		きまりの大切さが分かり、きまりを守って楽しく過ごそうとする。	・学校の約束やきまりを知り、よいこと悪いことを考えながら行動しようとする。(道徳) ・相手の気持ちを考えたり、自分の振る舞いを振り返ったりしようとする。(道徳)			
		社会生活との関わり	身近な人との交流を楽しむ		進んであいさつや返事をする		新しい友達や先生、上級生など、様々な人と触れ合うことを楽しみにする。	・新しい環境に親しみ、進んで友達に関わろうとする。 ・気持ちの良いあいさつや返事をしたり、話を最後まで落ち着いて聞こうとする。			
		思考力の芽生え	遊びを積極的に楽しむ		友達と遊びを考えたり工夫したりする		いろいろなことに興味・関心をもって取り組もうとする。	・友達と活動を楽しんだり、工夫したりしようとする。 ・クラスの友達や考えに触れる中で、様々な考えがあることに気付く。(算数・国語)			
	環境	自然との関わり・生命尊重	自然を遊びの中に生かす		自然や生き物を大切にすること		自然や生き物に興味をもって関わったり、大切にしたりしようとする。	・自然の事物や現象について関心をもち、進んで関わろうとする。(生活科) ・動植物に親しみをもち、世話等の体験活動を通して生命を大切にしようとする。(生活科)			
		数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	数量や図形、文字に興味関心をもつ		数量や文字を遊びの中に楽しく取り入れる		新しく始まる文字や数量の学習に興味・関心をもって取り組もうとする。	・鉛筆の持ち方に気を付け、丁寧に自分の名前を書こうとする。少しずつ言葉のまとまりを意識して、平仮名を読んだり書いたりしようとする。(国語) ・10までの数の意味や順番が分かるようになる。(算数)			
	言葉	言葉による伝え合い	自分の思いを言葉で伝える		言葉のやりとりをしながら遊びを進める		相手の話を聞き、言葉で自分の思いを伝えようとする。	・新しい友達や先生に、自分の思いを分かるように話したり、相手の話を聞いて理解したりしようとする。 ・分からないことや心配なことがあったら、先生や友達に聞こうとする。			
		表現	感じたことやイメージしたことを自由に表現する		友達と表現することを楽しむ		感じたことやイメージしたことを楽しく表現しようとする。	・新しく経験したことや、身近な自然や動植物に触れて感じたことを、文や絵で表現しようとする。(国語・生活科) ・自分の思いやイメージをもち、描いたり作ったり、歌ったり踊ったりすることを楽しむ。(図工・音楽)			
幼小の連携・接続		小学校の行事への参加・交流会		体験入学・出前授業情報交換会		聖籠町接続期カリキュラム検討委員会		園教諭による授業参観情報交換会			

(2) 一園一小から、複数園と小学校の新たな連携・接続方法の構築

複数園と小学校との連携方法の構築

これまでは、一園一小のため、園による新一年生授業参観、小学校からの出前授業など連携をとりやすかったが、令和4年度からは複数園との連携となり、またコロナ対策の面からも新たな連携体制をとっていきます。

	令和3年度まで	令和4年度から
園による新一年生授業参観	園教諭による授業参観と情報交換会の実施。	幼小のスムーズな接続に向けて、園教諭による授業参観を行う。 情報交換会は行わず、入学後気になる児童については学校から園や旧担任に問い合わせる。
就学時検診	担任が引率し、小学校で保護者に引き渡す。	保護者が、園に子どもを迎えに行く。
体験入学	担任が引率する。	保護者説明会と同時開催で、保護者が園に迎えに行き、保護者は説明会、子どもは体験入学を行う。 体験入学は、コロナの状況によりビデオ等による学校紹介になる場合もある。

(2) 一園一小から、複数園と小学校の新たな連携・接続方法の構築

複数園と小学校との連携方法の構築

	令和3年度まで	令和4年度から
出前授業・保育参観・情報交換	小学校教師が園で出前授業と保育参観・情報交換を行う。	複数園に行く小学校教師の負担が増えることと、体験入学も実施することから、出前授業は行わない。 保育参観や情報交換は、新一年生の学級編成に向けて実施する。
交流活動	児童会祭りや生活科等の交流に参加。	園には複数の学区の園児がいること、移動手段の確保やコロナの問題、体験入学も実施することから、その他の交流活動については今後検討を重ねていく。
就学相談を必要とする園児・保護者への対応	教育支援委員会の前に、小学校特別支援教育コーディネーター・子どもソーシャルワーカー・担当指導主事・保健師が、就学相談を必要とする園児のいる園を訪問し、行動観察と情報交換を行う。	⇒令和4年からは私立園でも実施する。

(3) 聖籠町の幼児教育の積極的な発信

①幼児教育リーフレットの作成

保護者・教職員向け幼児教育リーフレットの作成・配布

○聖籠町広報への掲載

- ・6月号に、リーフレット表面(遊びの意義・園小接続)の一部を掲載
- ・7月号に、リーフレット裏面(幼児期から小学校への接続に向けて育てたい力)を掲載

○町立こども園の各教室や玄関等に、リーフレット裏面(幼児期から小学校への接続に向けて育てたい力)を掲示し、常に意識した指導を行っている。

○令和4年度4月に、町内3～5歳児の全家庭に配布する。

○令和4年度に、町立・私立園各教室に、リーフレット裏面の拡大版を掲示してもらう

幼児教育リーフレット表面

小 学校では、園での成長を踏まえた
学習活動や環境づくりを行っています

幼児期の学びを小学校につなぐスタートカリキュラム

例 学校探検 (生活科を中心とした学習活動)



学校探検に出発！
たくさんのお部屋が
あるぞ！



ミッションクリア！
校長室でいろいろの
絵を発見!!

4月の入門期は、園での学びや育ちを生かしてスタートします

子どもたちが見つけたことや、もっとやって
みたいことを取り上げて学習を展開します。
また、園で経験してきた自分の思いを伝える
活動を大切にしています。



非認知能力

生涯にわたって必要になる
自立心や社会性の基礎となる力

- 例)
- 好奇心や意欲をもって取り組む
 - あきらめずに最後まで頑張る
 - みんなと仲良く協力する

幼児期に
育てたい能力

認知能力

見て聞いて理解する力

- 例)
- 物の名前、形、
言葉、数などがわかる

相互に影響し合って
総合的に育って
いきます



園 では、遊びや活動を通して「生活する力」
「かかわる力」「学ぶ力」を育てています

周りとかかわり、進んで考えたり試したりする経験が
「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」に
つながっていきます。

例 ままごと遊び (お店屋さんごっこ)

どんぐりを拾って
すてきなクッキー
を作ったよ

自然との関わりや
豊かな感性と表現など



いらっしやいませ！
何がいますか？

協同性や社会生活との関わり
言葉による伝え合いなど

例 砂遊び

砂ってサラサラ！
ごちそう作れる
かな？

自然との関わりや
思考力の芽生えなど



くずれないように
トンネルを作るにはどう
したらいいんだろう？

思考力の芽生えや協同性
言葉による伝え合いなど

聖籠町の幼児教育 未来を創る子どもの育成



幼児教育は 生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な
もので、小学校以降の教育の土台となるものです。

聖籠町では、子ども一人一人の個性や発達、興味・
関心を大切にしながら、家庭と園と地域で連携して
生活する力・かかわる力・学ぶ力 をしっかりと育て
ていきます。

家庭と園と地域で子どもを育む聖籠町



幼稚園・こども園



家庭

生活する力
かかわる力
学ぶ力



地域社会

聖籠町 幼児期から小学校への接続に向けて育てたい力

このリーフレットを、目につくところに置いてください

	幼児期 (3歳時～5歳時)	小学校1年生 (4・5月)
生活する力 ★ 基本的な生活習慣を身につけて、自分のことは自分でできるようになります	準備・片付け・着替えなど自分でやります 自分から進んであいさつをしたり「ありがとう」「ごめんさい」を言ったりします いろいろな運動遊びで毎日 体を動かします 生活の流れや集団のきまりを意識して行動します ビデオ・テレビ・ゲームなどは時間やルールを守ります	幼児期の終わりにまでに育ってほしい10の姿 自立心 健康な心と体 道徳性・規範意識の芽生え 学校のきまりを守り、日課に合わせて行動します。 身の回りの整理整頓や備に合ったあいさつを進んで行います。
かかわる力 ★ 互いの良さを認め合ったり友達と協力したりします	みんなで力を合わせて楽しく遊びます 言葉で思いや考えを伝え合います 自分たちの力で解決して仲よく遊びます たくさんの絵本に楽しみ感じたことを言葉で伝えます 自分の役割を考え みんなで力を合わせます	みんなと力を合わせてがんばります 言葉による伝え合い 協同性 社会生活との関わり 友達や先生に自分の気持ちややりたいことを伝えます。 友達と協力して一緒に活動します。
学ぶ力 ★ 自分の興味・関心をもったことに進んで取り組む、試したり考えたりしながら「わかった」「できた」という達成感を味わいます	興味や関心をもったことに自分から取り組みます くり返し試したり考えたりします わからないことは自分で調べてみます 身近な自然にふれて自然の楽しさや不思議さを味わいます 活動を成功させるためにみんなで考え合います 目的に向かってあきらめずにやりとおし達成感を味わいます 心を動かず体験をし、言葉や絵、動きで楽しさや思いを表現します いろいろな遊びや体験とおして数量・図形・標識・文字などにふれます	学習のしかたを理解し試したり考えたりします 自然との関わり・生命尊重 思考力の芽生え 豊かな感性と表現 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 学習のしかたを知り、進んで学習に取り組みます。 試したり、考えたことを友達と伝え合ったりします。 さまざまな体験を教科の学習に生かします 文字を読んだり書いたり、数を数えたりして理解します。 心が動かされたことを絵や言葉で表現します。

「幼児期の終わりにまでに育ってほしい10の姿」は、遊びを中心とした幼児教育を通して育っていき、小学校入学以降も育ち続けていきます。

(3) 聖籠町の幼児教育の積極的な発信

② 聖籠町広報で幼児教育や町立こども園の取り組みを積極的に発信

令和3年

- ・ 6月号 「町の幼児教育基本構想」 「遊びの意義と園小接続」
- ・ 7月号 「幼児期から小学校への接続に向けて育てたい力」
- ・ 8月号 「町立・私立園合同研修会」 「ALTとの英語活動」
- ・ 10月号 「新設 町立せいろう幼稚園紹介」
- ・ 11月号 「町立こども園の新型コロナ対策」
- ・ 12月号 「町立こども園閉園記念の風船飛ばし」

令和4年

- ・ 2月号 「町立こども園の沿革，今年度の活動の様子」
- ・ 3月号 「思い出いっぱいありがとう！町立こども園」

(準備中)

- ・ 5月号 「閉園式・開園式、閉園に寄せて(町長・教育長・園長)」

(3) 聖籠町の幼児教育の積極的な発信

③ホームページで町立こども園の取り組みを毎週発信

○毎週町立こども園から活動の様子を送ってもらい、編集し毎週金曜日に更新しています。

子どもたちの活動の様子や教師の取り組みを広く知ってもらうために、園便りに毎月ホームページのQRコードを載せ、閲覧を呼び掛けています。

④下越地区保幼小合同研修会で事例発表

○「カリキュラム・マネジメントと関連付けながら実施する学校評価について」事例発表のプレゼン作成

・町立蓮野こども園園長からの資料をもとに作成

・8月25日(水) 県立教育センターでの発表(コロナで中止・紙上発表)

(4) 閉園・開園に向けたサポート

①町立こども園閉園記念誌作成

- 記念誌「町立こども園の歩み」を作成
閉園式で来賓へ配布・聖籠町のホームページにも掲載

- ◎ 閉園に寄せて寄稿文(町長、教育長、園長、愛児会会長、歴代園長15名、こども園職員)
- ◎ 町立三園の歩み
 - ・園歌(音源, 歌詞, 楽譜)
 - ・沿革史
 - ・歴史の写真
 - ・今年度の活動の様子
 - ・各クラスのページ

②開園式・閉園式の準備

- 記念誌印刷・製本、思い出のスライド作成

(5) 幼児教育アドバイザーの質の向上

①有識者会議開催(3月)

○今年度の取り組みと令和4年度の活動について、指導・助言をいただく。

②連絡協議会開催(7・12・2月)

○現在の取り組みと今後の活動について指導、助言をいただく。

③新潟大学附属幼稚園研究会参加

○新潟大学附属幼稚園「保育の扉」Zoom参加(4・12月)

④文科省幼児教育推進体制の充実・活用事業意見交換会参加

○全国の幼児教育推進体制の充実・活用事業を受けている自治体の取り組み発表と意見交換会Zoom参加(4・8・12月)

令和4年度の研修の充実に向けて

令和4年度も、幼児教育の質と指導力向上を目指して研修に力を入れていきます。定期的な園内研修訪問の他に、指導者を招いての**町立・私立園合同研修**を年5回計画しています。

また、幼保小連携・接続を深めるために、研究保育協議会は、**町立・私立・小学校合同研修**とします。

聖籠町の未来を創る子どもたちのため、町立園・私立園・小学校と幼児教育センターがしっかりと連携しながら、幼児教育の質の向上と充実に一層努めていきたいと思えます。



令和4年度 町立園・私立園・小学校合同研修計画

<p>町立園・私立園・小学校合同 研究保育協議会(3回)</p> <p>指導者:新潟大学 教授 中島伸子様</p>	<p>○町立せいろう幼稚園で研究保育を行い、町立園・私立園・小学校教諭による協議会と大学教授による指導。</p> <ul style="list-style-type: none">・令和4年 6月 7日(火) 5歳児研究保育・令和4年 6月30日(木) 3歳児研究保育・令和4年10月13日(木) 4歳児研究保育
<p>町立園・私立園合同 園長・副園長・ミドルリー ダー研修(1回)</p> <p>講師:新潟市立沼垂幼稚園 園長 青木博子様</p>	<p>○町立園・私立園管理職を対象に、園経営と人材育成についての研修。</p> <ul style="list-style-type: none">・令和4年6月8日(水)
<p>町立園・私立園合同 全教諭対象 指導力向上研修(1回)</p> <p>講師:新潟大学 教授 中島伸子様</p>	<p>○町立園・私立園全教諭を対象に、大学教授による指導力向上研修。</p> <ul style="list-style-type: none">・令和4年8月24日(水)

聖籠町の子どもたちの明るい未来に向かって
これからも進み続けます！



ご指導ありがとうございます